

Human Interface

Journal of Human Interface Society ヒューマンインタフェース学会誌

2021 **23-1**
(P.1-P.36)

■巻頭言

HIのチャレンジ：コロナ禍をきっかけに思うこと

ヒューマンインタフェース学会 会長 藤田 欣也



新年明けましておめでとうございます。この原稿を執筆している2020年11月の時点では、コロナウィルスの流行は第3波を迎えようとしています。本誌が発刊される頃はどうか。流行が一段落していることを願わずにはいられません。

既に各所で言われているように、コロナ禍をきっかけとして急速に進んだリモートワークは働き方や社会のあり方を大きく変化させ、流行が収まっても完全に元に戻ることはないと思われます。HI学会も理事会や総会の運営が変わることはおそらく間違いないでしょう。

他方、対面とオンラインが混在するハイブリッド環境では、今まさに大学の講義で課題となっているように、複雑化したシステムの操作やコミュニケーションチャンネルの多重化によって認知負荷が増加します。とはいえ、いつも対面では複数の学生を相手に講義している訳ですから、インタフェースの改善によってある程度は解決しそうな気がします。すなわち、HIコミュニティの取り組みが期待される領域のひとつといえます。

リモートワークに関しても、サイバーコロキウムのパネル討論で議論したように*、互いに空間を共有するオフィスでは自然にできたコンテキスト依存の強いコミュニケーションが、間欠的にコミュニケーションを取るオンライン環境では難しくなり、ローコンテキストすなわち「行間」を読みとらなくても良いコミュニケーションが求められます。

中には、苦も無くそれができる人もいるでしょう。しかし、多くの場合、これまで暗黙の内に省略していた内容を明示的に言語化することや、ついつい省略された内容を確認することには様々な負担が伴います。会話内容のコンテキストだけでなく、相手や環境の状態に関するアウェアネスの伝達もオンライン環境の課題の一つです。学会としても、これらの課題へのチャレンジを後押しすることで社会に貢献できればと思います。

もちろん、オンライン環境はHI学会が対象とする領域の一部に過ぎず、他にもチャレンジの課題はたくさんあります。ぜひ、それぞれの領域で解決すべき課題をリストアップし、一つ一つ解決にむけた議論をしていきましょう。

*まさに多重コミュニケーションによる司会者の認知負荷が高すぎてZoomでの討論に反映することが出来ませんでした。Discordで複数の方からの確かなコメントをいただきました。皆様、ありがとうございました。

02 特集「サービス VR の挑戦」

Special Issue on : Expanding the Horizons of Service VR Research

特集よせて

東京大学 雨宮 智浩
Introduction

サービス VR の夜明け

東京大学 廣瀬 通孝
Dawn of the Service VR

サービスデザインのリサーチとプロトタイピングにおけるデジタル技術の活用

慶應義塾大学 武山 政直 廣瀬 花衣
Applying Digital Technologies to Service Research and Prototyping for Service Design

コロナ時代のイベント

HIKKY 舟越 靖 東京大学 小柳 陽光
Events in the COVID-19 Era

VR 空間における遠隔講義事例

東京大学 小柳 陽光 伊藤 研一郎 青山 一真 雨宮 智浩
Virtual Face-to-face Lecture using Spatial VR: Attempt in Actual Lecture

座談会：サービス VR への期待 第1部 - 第2部

Online Discussion on Expectations for Service VR Vol.1-Vol.2

24 ちょっと一息「BADUI 診療所」

明治大学 中村 聡史
BADUI Clinic

26 主催イベント報告

Event Reports

27 理事会・委員会便り

電子広報委員会 委員長 山本 知仁
Letter from Committee

28 ワタシの論文読みどころ

Papers Highlights in the Transaction

30 論文誌 Vol.23 No.1 のお知らせ

Information about the Transactions of Human Interface Society, Vol.23-No.1

34 入会案内、他

Membership Application, Others

